

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の 声

・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市今泉町二丁目～東本町
- 事業内容：電線共同溝 延長3,600m
- 事業期間：平成30年度～
- 現在の交通量：14,930台/日（自動車）
23人/12時間（歩行者）
61台/12時間（自転車）
（R3年度）

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



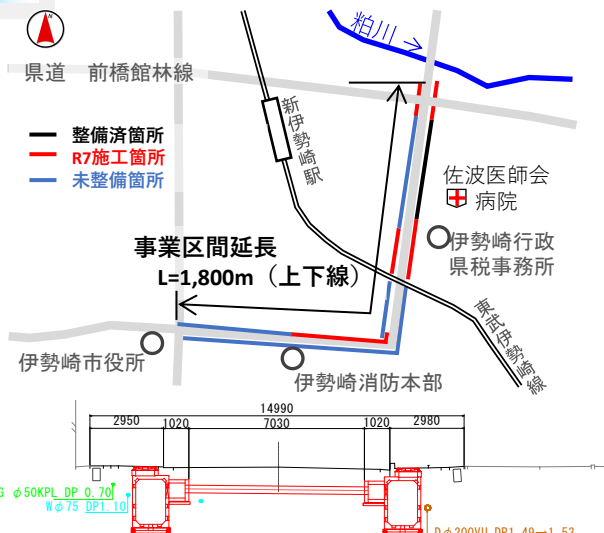
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
交通拠点と防災拠点間 （駒形IC～伊勢崎消防本部） の無電柱化率	33%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後（目標）
56%
なし



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は本体管路工事と、本体工事が完了した箇所の引込管路工を実施します。

